

山梨学習センター

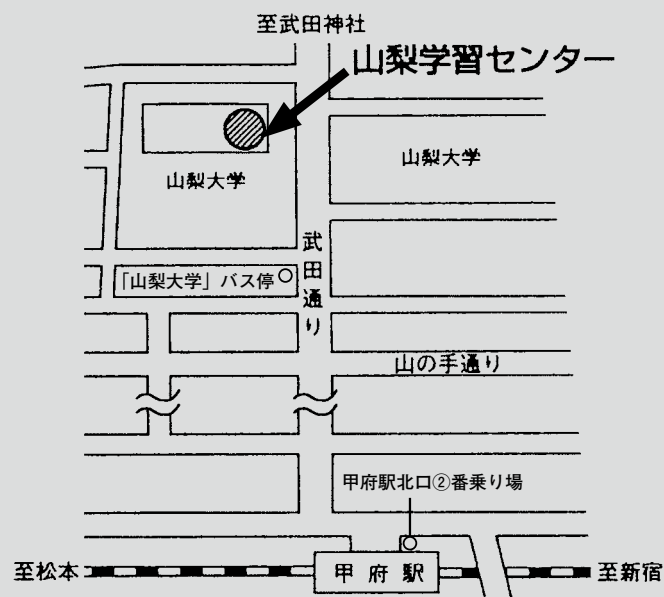
〒400-0016 甲府市武田4-4-37 (山梨大学甲府キャンパス内)
TEL. 055-251-2238

開所時間

面接授業開講日：9：10～17：40

授業概要・時間割表

- JR中央線甲府駅北口から徒歩20分
- 甲府駅北口バス停2番乗り場から「武田神社行」又は「積翠寺行」バスで「山梨大学」下車 徒歩1分 (所要時間5分)



【開設科目・開講日一覧】

開設センター	科目区分	科目名	担当講師	科目コード	クラス	定員	4月		
							12日	13日	19日
							土	日	土
山梨学習センター(19A)	基盤科目	新・初歩からのパソコン	服部 元信	2658453	K	3			
	基盤科目：外国語	旅で使える中国語	封 蓉	2664070	K	40			
	基盤科目：保健体育	根拠に基づく健康寿命延伸法	安藤 大輔	2664097	K	20			
	導入科目：人間と文化	日本語学への招待	仲本康一郎	2664100	K	30			
	導入科目：人間と文化	現代からみる仏教	望月 海慧	2664119	K	35			
	導入科目：人間と文化	英語基礎－適正学習法開発－	古家 貴雄	2664089	K	40			
	専門科目：生活と福祉	福祉のこころ	山崎 百子	2664127	K	40			1～4時限
	専門科目：心理と教育	カウンセリング・スキル	田中健史朗	2664135	K	40	1～4時限	1～4時限	
	専門科目：心理と教育	昔話から学ぶユング心理学演習	吉川 眞理	2664143	K	40	1～4時限	1～4時限	
	専門科目：心理と教育	心理学実験2	小野田亮介	2658615	K	14			
	専門科目：社会と産業	組み込みロボット入門	鳥山 孝司	2664151	K	16			
	専門科目：社会と産業	都市を社会的にとらえる	北川由紀彦	2661233	K	40			
	専門科目：社会と産業	ワインの基礎知識	柳田 藤寿	2664160	K	22			
	専門科目：人間と文化	文字を整えて美しく書く方法	宮澤 正明	2664178	K	20			
	専門科目：自然と環境	初歩の気象学	小林 拓	2664186	K	20			
専門科目：自然と環境	共生の生物学	二河 成男	2664194	K	40				

4月	5月							6月					7月		開設センター
20日	10日	11日	17日	18日	24日	25日	31日	1日	7日	8日	28日	29日	5日	6日	
日	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	
							1~4時限	1~4時限							
									1~4時限	1~4時限					
													1~4時限	1~4時限	
	1~4時限	1~4時限													
					1~4時限	1~4時限									
													1~4時限	1~4時限	
1~4時限															
											1~4時限	1~4時限			
							1~4時限	1~4時限							
	1~4時限	1~4時限													
									1~4時限	1~4時限					
			1~4時限	1~4時限											
			1~4時限	1~4時限											
											1~4時限	1~4時限			

山梨学習センター(19A)

面接授業概要

科目コード	2658453	授 業 概 要	【授業内容】 これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。学習センターのWi-Fiへの接続方法、放送大学ウェブサイト、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。
学習センター	山梨学習センター		【授業テーマ】 第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル） 第2回 文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめと振り返り（第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめてオンラインで提出）
学習センターコード	19A		【学生へのメッセージ】 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。
クラスコード	K		【受講前の準備学習等】 「学生生活の葉」に掲載されている放送大学のシステムWAKABA（教務情報システム）や各種システム、情報セキュリティガイドラインを読んで理解しましょう。自宅にパソコンがある場合は、そのパソコンを使ってシラバスの内容を予習してください。受講後は、受講時に配布する「新・初歩からのパソコンテキスト」を通読し、授業内容を復習してください。
科目名	新・初歩からのパソコン		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況および授業終了後のレポートの評点により行います。
科目区分	基盤科目		【受講者が当日用意するもの】 USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です） 学生証 授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ち下さい。
ナンバリング	110		【教科書】 ・新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース/放送大学/¥0）授業当日に配付します。
定員	3名		【参考書】 ・新・初歩からのパソコン電子版テキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース/放送大学/¥0）PDF/ダウンロード方法は授業で説明します。
担当講師	ハトリ モトノブ 服部 元信 (山梨大学・教授)		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。「新・初歩からのパソコン」の電子版テキストの入力方法は授業で説明します。「大学で学ぶためのパソコン基礎」の単位を修得済みの方は登録できません。
日程 実施時間	5月31日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 6月1日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2664070	授 業 概 要	【授業内容】 初めて中国語を習う人たちを対象に、あいさつなど実用性の高い中国語を中心に授業を進めます。また、発音など復習しながら、旅行で使える中国語を学び、より一層旅行の会話ができることを目指します。
学習センター	山梨学習センター		【授業テーマ】 第1回 こんにちは、はじめまして。 第2回 日本人です。観光で来ました。 第3回 地下鉄はどこですか？ 第4回 チェックインをお願いします。 第5回 朝ごはんは何時から何時までですか？ 第6回 いくらですか？アリペイをお願いします。 第7回 注文をお願いします。 第8回 お土産を買います。
学習センターコード	19A		【学生へのメッセージ】 外国語を学ぶことは大変難しいことです。授業中は失敗を恐れず、笑顔で大きな声で積極的に発音・発言しましょう。
クラスコード	K		【受講前の準備学習等】 ・中国の行きたい場所を一つ調べ、行ったつもりで事前に日本語で会話を書いてみてください。 ・中国語の発音が大変難しいですので、事前に中国語の四声を調べておいてください。 ・使えそうなあいさつを事前に10個調べてください。
科目名	旅で使える中国語		【成績評価の方法】 成績評価は、事前の学習、調べのまとめ及び授業中の学習状況、中国語の発表により行います。
科目区分	基盤科目：外国語		【受講者が当日用意するもの】 ・事前に調べた資料、ノートなど ・中日辞書をお持ちの方は、是非ご持参ください。
ナンバリング	110		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
定員	40名		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
担当講師	ホウ ヨウ 封 蓉 (創価大学・非常勤講師)		
日程 実施時間	6月7日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 6月8日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2664097	授 業 概 要	【授業内容】 「人生100年時代」の到来といわれる現代、長生きするのであれば健康で元気に楽しく過ごしたいと思う方が多いのではないのでしょうか。「人生100年時代」を豊かに生きるためには「健康寿命」を延ばすことが必要です。それではどうすれば「健康寿命」を延ばすことができるのでしょうか？その方法は日常生活の行動の中にあります。本講義では、科学的な根拠に基づき健康と生活習慣の関係を学ぶ中で、特に動くこと（身体活動）の重要性を認識することを目的とします。 【授業テーマ】 第1回 健康寿命を左右する要因 第2回 がんを防ぐ方法 第3回 血管を若く保つ方法 第4回 高血糖を防ぐ方法 第5回 体脂肪を減らす方法 第6回 筋肉・骨を強くする方法 第7回 認知機能を保つ方法 第8回 人生をアクティブに！ 【学生へのメッセージ】 一方的な講義形式ではなく、質問をしながら講義を展開していきます。 【受講前の準備学習等】 事前学習として、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。特に、自らの生活習慣を振り返り、その生活習慣と各種疾病（がん、循環器疾患、糖尿病、骨粗鬆症、認知症等）との関係を整理しておいてください。なお、事前学習を重点的に行い、事後学習としては、講義内容を元に授業で学修した内容を中心に復習することで理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具、ノート等 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・運動生理学 生理学の基礎から疾病予防まで（第2版）（小山勝弘・安藤大輔／編著／三共出版／¥2,750／ISBN=9784782708026） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：保健体育」に該当します。
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	根拠に基づく健康寿命延伸法		
科目区分	基盤科目：保健体育		
ナンバリング	120		
定員	20名		
担当講師	アンドウ ダイスケ 安藤 大輔 (山梨大学大学院・准教授)		
日程実施時間	7月5日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 7月6日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2664100	授 業 概 要	【授業内容】 世界の言語のなかで日本語はどのような特徴を持っているのでしょうか。この授業では、日常生活で私たちがあたりまえに使っていることばを、音声、文字・表記、語彙、文法といった観点から考察することで、日本語表現に対する理解を深めていきます。また、方言と共通語、待遇表現、世代差、ジェンダー差といった日本語のバリエーションについて学び、そこにある課題を批判的に検討していこうと思います。 【授業テーマ】 第1回 日本語の音声・音韻—気持ちは表わす 第2回 日本語の文字表記—イメージを伝える 第3回 日本語の語彙と表現 第4回 日本語の文法—文の成り立ち 第5回 日本人の言語行動 第6回 方言と共通語—ことばの地域差 第7回 若者語を考える—ことばの乱れ？ 第8回 ことばとジェンダー—社会を変革する！ 【学生へのメッセージ】 ことばやコミュニケーションに興味のある人、日々の生活で何気なく使っている日本語について考えてみたい人、日本語学という学問に触れてみたい人、ことばの面白さをともに味わってみませんか。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	日本語学への招待		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	30名		
担当講師	ナカモト コウイチロウ 仲本 康一郎 (山梨大学・教授)		
日程実施時間	5月10日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 5月11日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2664119	授 業 概 要	【授業内容】 本講義は、インドで始まり、中央アジアを経て東アジアまで伝播した仏教が、2500年後の現在においてどのような意味を持つのかについて講義します。それにより、仏教思想の知識を身につけるだけでなく、それが現代社会にどのように役立つものなのかという見地で仏教を学びます。また、日蓮宗の総本山である身延山久遠寺での朝のお勤め(朝勤・ちようごん)の体験学習や宝物館研修を通して仏教の歴史文化についても学びます。
学習センター	山梨学習センター		【授業テーマ】 第1回 アジアにおける仏教の伝播(1) 第2回 アジアにおける仏教の伝播(2) 第3回 仏教思想の現代的意義(1) 第4回 仏教思想の現代的意義(2) 第5回 仏教実践の体験学習 第6回 仏教思想の現代的意義(3) 第7回 仏教思想の現代的意義(4) 第8回 宝物館研修
学習センターコード	19A		【学生へのメッセージ】 2日目の早朝(4時30分起床)身延山久遠寺にて朝勤の体験学習を行います。なお、開催地は山の中腹に位置しているため、講義及び体験学習等の際は、片道約20分ほどの急な坂道や階段を徒歩により移動しますので、ご承知おきください。
クラスコード	K		【受講前の準備学習等】 簡単な仏教の入門書を読んで、仏教に関する基本用語を辞書で調べておいてください。
科目名	現代からみる仏教		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
科目区分	導入科目：人間と文化		【受講者が当日用意するもの】 参加費用：9,000円(宿坊の宿泊代1泊2食分です)身延山大学(宿坊)までの往復交通費は自己負担となります。
ナンバリング	220		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
定員	35名		【参考書】 ・仏教福祉と家族問題(身延山大学仏教学部/山喜房佛書林/¥770/ISBN=9784796307918) ・岩波 仏教辞典 第三版(中村元他/岩波書店/¥9,900/ISBN=9784000803236) ・教養としての仏教思想史(木村清孝/筑摩書房/¥1,265/ISBN=9784480074300)
担当講師	モチヰキ カイエ 望月 海慧 (身延山大学・学長)		【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
日程 実施時間	5月24日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 5月25日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート 16:15～17:00		【留意事項】 ・この授業は、時間を変更して実施します。 ・授業会場：身延山大学及び宿坊・宿泊場所：宿坊「樋澤坊」TEL 0556-62-0050・宿泊は、数人の相部屋になります。 ・受付：宿坊「樋澤坊」で行います。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照)・受講者には、5月初旬を目途に詳細について通知します。
実施会場	★身延山大学及び宿坊「樋澤坊」(山梨県南巨摩郡身延町身延3567及び身延町身延3600)		

科目コード	2664089	授 業 概 要	【授業内容】 この授業では、英語学習のメカニズムを自分のこれまでの英語学習との関係で考えていきます。授業の中では英語習得のメカニズムも講義しますが、それを踏まえて是非、自分の英語の学習方法を今一度反省し、より有効な方法を発見してもらいたいと思います。そのために、学習者の英語学習の心理的側面や、日本人の英語習得の困難性の原因について詳しく触れます。最後に、英文のテキストを味わい、英語を学習する楽しさも体験します。
学習センター	山梨学習センター		【授業テーマ】 第1回 授業のガイダンスと過去の英語学習の反省と議論 第2回 英語学習と私(英語学習の基礎理論の講義) 第3回 英語の学習者要因 第4回 英語のリーディング技能のメカニズム 第5回 英語のリスニング技能のメカニズム 第6回 第二言語習得論について 第7回 英語の語彙の習得と自分に合った学習方法 第8回 英文テキスト講読演習(1つテキストを選んで読みます。前日に予習をお願いします)
学習センターコード	19A		【学生へのメッセージ】 自分の英語の勉強方法を反省しながら、自分に合った英語の有効的な学習方法をこの授業を通して考えてみましょう。この授業ではその他、英語習得や英語学習に関する基本的なメカニズムを押さえながら、基礎的な英語技能の訓練も行います。
クラスコード	K		【受講前の準備学習等】 授業の最初に過去の自身の英語学習の反省と課題を述べてもらいますので、この2つについてよく考えておいてください。また、授業の最後に、今後の自己に合った学習方法についても発表をしてもらいたいと思いますので、併せてよく考えておいてください。
科目名	英語基礎 一適正学習法開発一		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
科目区分	導入科目：人間と文化		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具、ノート、辞書
ナンバリング	220		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
定員	40名		【参考書】 ・英語学習のメカニズム(廣森友人/大修館書店/¥1,600/ISBN=9784469246650) ・英語は決まり文句が8割(中田達也/講談社現代新書/¥900/ISBN=9784065293461)
担当講師	フルヤ タカオ 古家 貴雄 (山梨大学・名誉教授)		【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
日程 実施時間	7月5日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 7月6日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2664127	授 業 概 要	【授業内容】 「福祉のこころ」と題し福祉のルーツを考えます。死生学から開始し福祉の哲学的考察を目的にアマルテア・センの考えを参考にします。福祉の実践面からICF (International Classification of Functioning, Disability and Health) の理念を参照し人間とは何かを考え人間関係論を展開します。最後に「福祉のこころ」の根、原点などについて講義全体をまとめます。 【授業テーマ】 第1回「福祉のこころ」のイントロダクションおよびオリエンテーション 講義全体についてのキーワード (種まき) 第2回 福祉からのサナトロジーその1 死とは何か 安楽死、尊厳死などについて 第3回 福祉からのサナトロジーその2 看取りについて 緩和ケア 死のリスクマネジメント 第4回 福祉の原点 アマルテア・セン等の先人たちの考えなど 第5回 ICF (International Classification of Functioning, Disability and Health) を通じて健康・障害・人間とはを考える 第6回 何かを信じる事と人々との信頼関係などについて発展させる 第7回 人間関係論の展開とマネジメント (主張訓練およびアンガーコントロールを含む) 第8回 講義全体を通じた福祉のこころについてまとめる 【学生へのメッセージ】 授業はパワーポイントで行います。2日間という限られた時間内での講義なので、不足分はパワーポイント資料にて自宅学習用として作成し、お渡しします。授業中不明な単語等は国語辞典、辞書などを持参し随時確認しても構いません。 【受講前の準備学習等】 時事問題等に注意し世の中の流れについて考えてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 辞書類 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他 (特記事項)】
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	福祉のこころ		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	ヤマザキ モモコ 山崎 百子 (放送大学・非常勤講師)		
日程 実施時間	4月19日 (土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 4月20日 (日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2664135	授 業 概 要	【授業内容】 この授業では、対人援助を行う際に必要となるカウンセリング・スキルの基礎について学習します。それはカウンセラー等の専門家が活用するものだけでなく、日常での心理的援助に活用できる理論を紹介し、様々な演習を通して、具体的なコミュニケーションを身に着けることと、それを支える理論を理解することを目指します。 【授業テーマ】 第1回 対人援助の基礎 第2回 カウンセリングの基本的態度 第3回 探求段階のカウンセリング・スキル (講義) 第4回 探求段階のカウンセリング・スキル (演習) 第5回 洞察段階のカウンセリング・スキル (講義) 第6回 洞察段階のカウンセリング・スキル (演習) 第7回 行動段階のカウンセリング・スキル (講義) 第8回 行動段階のカウンセリング・スキル (演習) 【学生へのメッセージ】 カウンセリング・スキルの演習を実施します (演習実施への配慮が必要な方はお申し出ください)。また、他者を否定せず、共感的・受容的に受講できる方を求めます。 【受講前の準備学習等】 これまでの対人援助経験を振り返っておいてください。授業中に発言を求められることがあります。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポートは後日提出ではなく、当日に課します。 【受講者が当日用意するもの】 ワークシートへの記入を求めますので、筆記用具をご持参ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・ヘルピング・スキル：探求・洞察・行動 (アクション) のためのこころの援助法 (クララ・E・ヒル/金子書房/¥11,000 / ISBN=9784760832590) 【その他 (特記事項)】
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	カウンセリング・スキル		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	310		
定員	40名		
担当講師	タナカ ケンシロウ 田中 健史朗 (山梨大学・准教授)		
日程 実施時間	4月12日 (土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 4月13日 (日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2664143	授 業 概 要	【授業内容】 本授業では、ユング心理学の基礎を、昔話を素材とした討論を通して体験的に学ぶことをめざします。昔話はユング派の分析家のフォン・フランツによって「集合的無意識の心理的プロセスの最も純粋で簡潔な表現」と形容されているとおり、母元型、影、アニマ／アニムスなどが、物語のかたちで生き生きと表現され、心のイニシエーションや個性化のテーマが展開していきます。昔話を味わい、イメージを用いて世界観を共有し、グループ討論を通して理解を深める演習となりますので、これらのワークに積極的に参加いただくことを期待しています。
学習センター	山梨学習センター		【授業テーマ】 第1回 心を動かす昔話の力とその根源について 第2回 ユング心理学におけるイメージの活用と元型論入門 第3回 昔話の魔女とは何者か？ 第4回 男性の心を自立に導く女性の力を描く昔話を読む 第5回 女性の心の成長を描く昔話を読む 第6回 昔話におけるアニマ／アニムスのテーマと個性化 第7回 影をテーマとする昔話を読む 第8回 全体ふりかえり討論→学びの成果をまとめる
学習センターコード	19A		【学生へのメッセージ】 『精神分析とユング心理学』をすでに履修されて、ユング心理学に興味を持たれた方におすすめの内容ですが、この科目を履修されていない場合も受講可能です。
クラスコード	K		【受講前の準備学習等】 インターネットのグリム童話一覧のHP：グリム童話の一覧ーグリム童話 (grimmstories.com) あるいは、岩波文庫等のグリム童話集より、①自分のお気に入りの話、②これまで読んだことはなかったけれど、おもしろいと感じた話を、それぞれ一つ、挙げられるように準備しておいてください。
科目名	昔話から学ぶ ユング心理学演習		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
科目区分	専門科目：心理と教育		【受講者が当日用意するもの】 描画課題がありますので、色鉛筆、クレパス・クレヨンなどお気に入りの彩色ツールの持参を推奨します（当日、講義室で12色クレヨンの貸し出しも可能です）。
ナンバリング	320		【教科書】 ・精神分析とユング心理学ー心の深層へのアプローチ（吉川眞理・田中健夫／放送大学教育振興会／¥3,300／ISBN=9784595323874）
定員	40名		【参考書】 ・定本 昔話と日本人の心 岩波学術文庫 349（河合隼雄（河合俊雄編）／岩波書店／¥1,760／ISBN=9784006003494）
担当講師	ヨシカワ マリ 吉川 眞理 (学習院大学・教授)		【その他（特記事項）】
日程 実施時間	4月12日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 4月13日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2658615	授 業 概 要	【授業内容】
学習センター	山梨学習センター		この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		心理学における基礎的実験として「記憶範囲」「メンタルローテーション」「要求水準」の3つを取り上げます。受講生の皆さんは、これらの実験に実験者あるいは参加者として取り組み、分析結果をレポートとしてまとめます。授業を通して、心理学の実験方法、データ分析の方法、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、原則として8回の授業にすべて出席し、3つの実験すべてについてレポートを作成・提出する必要があります。
科目名	心理学実験2		【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション：心理学実験とは 第2回 記憶範囲：実験 第3回 記憶範囲：データ分析・レポート執筆指導 第4回 メンタルローテーション：実験 第5回 メンタルローテーション：データ分析・レポート執筆指導 第6回 要求水準：実験 第7回 要求水準：データ分析・レポート執筆指導 第8回 全体のまとめ
科目区分	専門科目：心理と教育		【学生へのメッセージ】 実験の実施とデータ分析、およびレポート作成にはパソコンを 사용합니다。基本的なパソコン操作（Word、Excelの計算や図表作成を含む）については、あらかじめ各自で習得していることが望ましいです。
ナンバリング	320		【受講前の準備学習等】 WordやExcelの基本的な操作について確認しておくことをお勧めします。インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
定員	14名		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実験課題への主体的な取り組みの状況、およびレポートの評点により行います。
担当講師	オノダ リョウスケ 小野田 亮介 (山梨大学・准教授)		【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等） 3. ソフトのインストール ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。・Wordが必要です。・Excelが必要です。 4. その他 マウスを持参してください。
日程 実施時間	6月28日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 6月29日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
実施会場	山梨学習センター	【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。	

科目コード	2664151	【授業内容】 <p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>本科目では、組み込み系システムの一つであるArduinoを使い、モータの制御方法などを学びます。プログラムの作成が中心になりますが、予備知識はいりません。また、自動車型のロボットに乗せて、赤外線リモコンで操作できるようにしていきますので、自分の思い通りに動かすという経験をしてみませんか？</p> 【授業テーマ】 第1回 組み込みロボットとは・開発環境の導入 第2回 LEDを光らせてみよう 第3回 直流モーターを制御してみよう 第4回 自動車型ロボットに乗せて動かしてみよう 第5回 超音波センサーで衝突回避をしてみよう 第6回 ライントレースをしてみよう 第7回 赤外線リモコンを使ってみよう 第8回 自動車型ロボットをさらに発展させていくには何ができるか？ 【学生へのメッセージ】 理解度に合わせて進めるペースを調整します。操作方法など分からないことがあればその都度対応しますので、楽しんで学んでいきましょう。 【受講前の準備学習等】 マウス操作や文書入力、ファイル操作程度の基礎的なWindowsの知識の学習をしておいてください。プログラミングの勉強はしなくても良いですが、説明時に何を言っているか理解できるように、セミコロン「;」、カンマ「,」といったASCII文字の読み方は学習しておいてください。インターネットへの接続は必須ではありませんが、トラブルの対応や、応用的な取り組みを自分で検索して取り組むなどができるので、準備をお勧めします。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の菜」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 Windowsが必要です。MacOSの場合は事前に相談してください。 3. ソフトのインストール Arduino IDEのインストールが必要です。当日インストールするので、インストールに必要な管理者権限をできるようにしておいてください。 4. その他 ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 授業当日に補助教材を配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。当日に、制御用のプログラムを行うためのソフトウェア（開発環境）をインストールします。その際、ノートパソコンの管理者権限が必要になります。良くわからないという方は予めご相談ください。
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	組み込み ロボット入門	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	310	
定員	16名	
担当講師	トリアマ コウジ 鳥山 孝司 (山梨大学・准教授)	
日程 実施時間	5月31日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 6月1日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート 16:15～17:00	
実施会場	山梨学習センター	

科目コード	2661233	授 業 概 要	【授業内容】 この授業では、私たちが暮らす地域社会について、主に都市社会学の観点から学びます。「そもそも都市とは何なのか」、「都市での生活と村落での生活とは何が違うのか」、「町内会とはどのような組織なのか」、「日本の都市や地域社会はどう変わってきているのか」などのテーマについて、できるだけ身近な話題と関連づけながら論じていきます。 【授業テーマ】 第1回 近代大都市は「発見」された：都市社会学の誕生 第2回 都市空間はどのようにかたちづけられるか : 同心円地帯モデルとその検証 第3回 都市の生活とは(1) : 生活様式としてのアーバンイズムとコミュニティ問題 第4回 都市の生活とは(2)：都市的生活様式論 第5回 町内会という地域組織 第6回 都市社会のしくみ：都市類型と社会構造 第7回 都市とグローバリゼーション(1)：世界都市仮説 第8回 都市とグローバリゼーション(2)：工業都市と日系人 【学生へのメッセージ】 できるだけ入門的な内容を予定していますが、社会学についての基礎知識を学習されているとより理解しやすくなると思います。 【受講前の準備学習等】 皆さんがお住まいの地域あるいは住んだことがある地域(市町村など)についての解説レポートを書いていただく予定です。地域の特徴について自治体のwebサイトなどで調べておかれるとよいでしょう。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・都市と地域の社会学(森岡清志・北川由紀彦/放送大学教育振興会/¥2,640 / ISBN=9784595318856) 放送授業科目「都市と地域の社会学('18)」の印刷教材です。 ・都市と地域の社会学(北川由紀彦・玉野和志/放送大学教育振興会/¥2,970 / ISBN=9784595324796) ・よくわかる都市社会学(中筋直哉・五十嵐泰正編/ミネルヴァ書房/¥3,080 / ISBN=9784623065059) 【その他(特記事項)】 都市社会学に関連する放送授業(「都市社会の社会学('12)」 「都市と地域の社会学('18)」 「都市と地域の社会学('24)」など)と部分的に内容が重なる可能性があります。
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	都市を社会的にとらえる		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	キタガワ コキヒコ 北川 由紀彦 (放送大学・教授)		
日程実施時間	5月10日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 5月11日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 議・レポート等 16:15~17:00		
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2664160	授 業 概 要	【授業内容】 ワインに関する基礎を学びます。ワインの原料である「ぶどう」、アルコールを造る「酵母」やワイン醸造法等の基礎知識や最新の日本ワイン情報をも身につけていただきます。また、講義の後半には、実際のワイン醸造現場での学習も行います。さらに、ワインを美味しく味わうために、実際にワインのテイastingを体験実習します。 【授業テーマ】 第1回 ワインとブドウ 第2回 ワイン醸造と微生物 第3回 海洋酵母ワインと赤池幻酵母ワイン、 開府500年スパークリングワイン 第4回 ワインと健康 第5回 日本ワインについて 第6回 ワインのテイastingについて 第7回 ワイン科学研究センターの説明と見学 第8回 ワインの保存方法及びワインを飲むときの正しいマナーについて 【学生へのメッセージ】 注1) 面接授業2日目最終講義終了後、ワインのテイastingの講習を行います。 注2) テイastingには受講者全員の参加を希望します。 注3) 20歳未満、車での来校者は受講出来ません。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 面接授業2日目第3時限に簡単なレポートを課し、その評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 テイasting代として、当日2,000円いただきますのでご用意ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他(特記事項)】
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	ワインの基礎知識		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	22名		
担当講師	ヤナギダ フジトシ 柳田 藤寿 (山梨大学ワイン科学研究センター・教授)		
日程実施時間	6月7日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 6月8日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~14:35 議・レポート等 14:35~15:20 第4時限 15:30~17:00		
実施会場	★山梨学習センター及び山梨大学ワイン科学研究センター(山梨大学甲府キャンパス内)		

開設科目・開講日一覧

茨城

栃木

群馬

新潟

山梨

長野

科目コード	2664178	授 業 概 要
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	文字を整えて 美しく書く方法	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ミヤザワ マサアキ 宮澤 正明 (山梨大学・名誉教授)	
日程 実施時間	5月17日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 5月18日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート 16:15～17:00	
実施会場	山梨学習センター	
【授業内容】 情報化社会が定着し手書きの機会が減少する中、デザイン文字やデジタル文字などが書き文字の姿・形に変化をもたらそうとしています。本科目では、書き文字とデザイン文字やデジタル文字などとの違いを明確にし、1000年を超えて築かれてきた書き文字文化の伝統を再認識し、実技（毛筆を中心に）を通して文字を整えて美しく書く方法を考えます。 【授業テーマ】 第1回 漢字の成立について 書体の変遷 第2回 仮名の成立について 仮名の変遷 第3回 整った字形とは何か 第4回 デザイン文字やデジタル文字と書き文字の違い 第5回 書き文字の点画の書き方 第6回 字形を整えて美しく書くための原理・原則 第7回 毛筆による文字の書き方 ①楷書 ②行書 ③仮名 第8回 日常書式（はがき 手紙）の書き方 【学生へのメッセージ】 手書き文字が減少する中で、書き文字の意義を再確認しようという講座です。書を身近に感じたい、表現してみたい方、是非受講してみてください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、毎時の出欠 作品の提出物 レポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 書道用具一式（大筆・小筆、墨液、硯、半紙、下敷き、文鎮、新聞紙） 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】		

科目コード	2664186	授 業 概 要
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	初歩の気象学	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	コバヤシ ヒロシ 小林 拓 (山梨大学・准教授)	
日程 実施時間	5月17日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 5月18日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート 16:15～17:00	
実施会場	山梨学習センター	
【授業内容】 なぜ雨が降るのでしょうか？雨と雪は何が違うのでしょうか？雲の中の水滴は、なぜ落ちてこないのでしょうか？降水に限っても不思議なことがたくさんあります。そこで身近な自然現象である天気に関する仕組みについて学びます。また、雪の結晶成長実験を行い、降水に関する知見を深めつつ、自然の造形美に触れます。さらに、大気に関わる地球環境問題について理解を深めるとともに、担当講師の南極観測隊での体験を交えながら、南極と地球環境との関わりについて学びます。 【授業テーマ】 第1回 地球の大気の特徴 第2回 雨が降る仕組み(1) 第3回 雨が降る仕組み(2) 第4回 雪の結晶成長実験 第5回 風が吹く仕組み 第6回 寒暖が生まれる仕組み 第7回 大気に関わる地球環境問題 第8回 南極と地球環境 【学生へのメッセージ】 気象学を理解するためには物理学の知識が必要となりますが、なるべく数式を避けて平易に説明いたします。 【受講前の準備学習等】 日々の空の様子を改めて眺めてみてください。不思議なことがたくさんあると思います。その疑問をもって講義に臨んでください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・一般気象学 第2版補訂版（小倉義光／東京大学出版会／¥3,080／ISBN＝9784130627252） ・百万人の天気教室（白木正規／成山堂書店／¥3,630／ISBN＝9784425513529） 【その他（特記事項）】		

科目コード	2664194	授 業 概 要	【授業内容】 生物間にはさまざまな相互の関係が存在します。その中でも共生、特に他の生物の中に別の生物が入り込む内部共生は、これ以上ない密接な関係です。本講義では、共生の発見の歴史を概観し、ヒトやさまざまな生物について、内部に共生している生物との相互の関係や、さらにはミトコンドリアや葉緑体などの細胞レベルでの共生について解説し、生物間における共生がどのように成立しているかの理解をめざします。
学習センター	山梨学習センター		【授業テーマ】 第1回 共生の生物学の歴史 第2回 ヒトの関わる共生 細菌とヒト 第3回 さまざまな共生という関係 第4回 植物と共生 植物と共生するさまざまな菌類 マツタケもその一員 第5回 昆虫と細胞内共生 宿主への栄養提供や生殖操作を行う細菌 第6回 寄生者の戦略 第7回 ミトコンドリアと葉緑体の起源 共生と環境について 第8回 自然との共生を考える
学習センターコード	19A		【学生へのメッセージ】 身近な生物を例に説明するので、専門的な知識がなくとも受講可能です。
クラスコード	K		【受講前の準備学習等】 地衣類、腸内細菌、アブラムシ、マメ科植物、菌根菌、昆虫共生細菌、マラリア、シアノバクテリア、シカなどから興味のある生物について学習しておく、授業の理解が深まります。
科目名	共生の生物学		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートのテーマは「講義の中で興味を持った内容と、そのことに関する自身の考えや意見」です。分量はA4 1～2枚程度です。
科目区分	専門科目：自然と環境		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
ナンバリング	320		【その他（特記事項）】
定員	40名		
担当講師	ニコウ ナルオ 二河 成男 (放送大学・教授)		
日程 実施時間	6月28日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 6月29日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター		